

東北ダンブの

【発行】全日本建設交運一般労働組合(略称・建交労)東北ダンブ支部
〒963-8025 郡山市桑野2-3-2
建交労福島ダンブ分会内

2022年12月1日発行 NO.6 TEL024-933-4511 fax024-921-1868
Email:fukusimadanpu@mtj.biglobe.ne.jp

全日本トラック協会本部に抗議・申し入れ …組織的な白ナンバー ダンブ排除をやめろ…

11月11日、東京・四谷にある全日本トラック協会(全ト協)本部を訪れ、白ナンバーダンブ排除はやめろと申し入れました。組合からは、昆・東北ダンブ支部書記長と森谷・全国ダンブ部会顧問が参加し、全ト協では土屋・輸送事業部長、佐竹・審議役(国交省自動車局から天下り)、宮澤・担当部長の3名が対応しました。

事の発端は、北海道新幹線トンネル工事の現場で白ナンバー排除の動きが出た事です。元請は安藤ハザマ、下請が山崎建設ですが、「白ナンバーを使うのはまずいとト協から言われた」と、山崎建設から連絡があったことです。取り敢えずは、森谷から関係者に説明をして問題は解決しましたが、これまでも度々起きていた事なので、今回はばかりは堪忍袋の緒が切れての抗議となりました。

自家用ダンブは合法、優先使用車

組合からは、山ほどの資料を持参し、「自家用ダンブは合法であるばかりか、公共工事の優先使用車である」ことを強調しました。全ト協幹部からは一言の質問も反論もなく、組合の正当性を証明する結果になりました。森谷からは「建交労が貨物自動車運送事業法に立ち入って難クセを付けた事など一度もない。全ト協は何の根拠を持ってダンブ規制法の領域に踏み込んで来るのか、断じて許せない」と抗議しました。

組合からは、全国各県にあるト協に「白ナンバーダンブ排除はやめろ」の通達を出す様に求めました。土屋部長からは、全ト協内にあるダンブ部会に諮った後に、具体的な対応をしますという事になりました。

東北・北海道の仲間の皆さん、自家用ダンブが違法な存在などとは、法的根拠のない「ガセネタ」であり、ダンブ規制法では「一匹オオカミは公共事業で優先使用する」ことが、元請の義務とされています。

これまで以上に組合に結集して闘いましょう。



第37次・ゼネコン本社要請行動に参加して

建交労には建設産別対策委員会があり、ダンブ、労職、セメント・生コン、重機、建設現場、建設関連の6業種部会が結集しています。18年前から、春と秋の2回に分けて、株式を上場しているゼネコン本社を訪ねています。

一社当たり80分の交渉ですが、大震災やコロナの時も休まず、18年間続けて来たことから、様々な到達点を築いて来ました。特に、ダンブの使用促進闘争に関しては、「建交労のダンブを一定の単価で優先使用する」ことが当たり前の事となり、担当者が交代しても申し送りされています。(上の写真は西松建設)

今年のA班には森谷・部会顧問が参加し、飛鳥建設、鉄建建設、奥村組、西松建設を、B班には昆・副会長が参加し、竹中土木、安藤ハザマ、戸田建設、鴻池組を訪ねました。ダンブに関する課題では、建退共貼付と労災保険の徹底などは定着し、12条団体に対する優先使用措置も、わずかの会社を除いては徹底されています。それらの到達点は、東日本大震災の復興工事、沖縄那覇空港拡張工事、リニア新幹線トンネル工事、北海道新幹線トンネル工事等で具体化を見えています。

今年の交渉で力を入れたのは、昨今の資材高騰に対応した単価の引き上げです。多くの本社が、「事情は理解している。支店にも伝えながら、個々の現場で前向きに対応したい」という回答でした。実際、リニア新幹線でも北海道新幹線でも、50,000円(税別)で就労中の現場が、53,000円(税別)に改定される例が増えています。

石の上にも3年

18年前の当時、建交労ダンブなら、相場単価よりも15,000円/日も高く貰えるなど、誰が想像したでしょう。仕事がなくなるのが怖くて、単価引き上げなど口にも出せませんでした。「石の上にも3年」という諺があります。冷たい石の上でも、3年も座り続けていれば、石も温まる、という事です。18年間、同じ主張を続けて来たのが、ゼネコン本社要請行動です。



鴻池組要請

晴釣雨読(せいちょううどく)

温暖化防止対策が叫ばれる昨今、日本古来より源流に生き続けた岩魚(イワナ)は、異常気象で大洪水が起これば幾日も餌にありつく事は無く、水位が落ち着き始めるとどんなに腹が一杯になろうとも流れて来る餌ならどんな生き物でも食べる。▼釣り師に伝わる有名な話、腹の中から蛇が出てきたこともあるほどで、時には同種の魚や共食いをして生き抜いている。▼温暖化で生活圏を奪われ過酷な環境の中、真夏の渇水期ともなれば水温上昇により、冷たい流れを求め、爬虫類のように体をくねらせながら土の上を移動出来るよう進化した。▼一旦人影に気づけば岩陰に潜み、どんなに美味しい餌が来ようとも身動きせず、川底の石や流木に同化し身を守り祖先を残し、太古より生き続けて来た。▼分類は「ニッコウイワナ・ヤマトイワナ・エゾイワナ・ゴギ」の4種で、それぞれの地域分布個体へ枝分かれて生息域で懸命に生き続けている。▼日本在来の絶滅危惧種「オシロコマリカラフトイワナ」は現在も北海道にのみ生息していて、然別湖に1万5千年程前、オシロコマが陸封されて独自の進化を遂げて「ミヤベイワナ」(宮部金吾が命名北大教授)と言う魚名となり今も生き続けている。▼氷河期から生き貫いて来た魚で「溪流の王者」「幻の怪魚」などの異名で呼ばれ、岩魚は氷河期からの遺産で保護する必要がある。▼地球最大の危機、「温暖化対策」に政治家は真摯に向き合って欲しいものである。

高橋 溪峰

インボイス導入中止を

物価高、円安、コロナ禍のもと、政府は新たな増税政策であるインボイス制度を来年10月1日から導入しようとしています。いま全国各地や各業界から、この制度の中止、廃止、延期を求める声が高まっています。

組合では、インボイス制度の中止を求めています。

庶民同士を分断するな

声優、アニメ、演劇、漫画の業界に関わる有志でつくるエンターテインメントの4団体は、11月16日インボイス制度反対の記者会見をおこないました。声優の岡本麻弥さんは「消費者から消費税をねこばばしている」と誤解されている『益税』論が庶民同士の分断を招いている。事業者の売上金であって、預り金ではない」と強調しました。

西田敏行ら俳優もストップの声

また俳優連合（西田敏行理事長）は、11月14日「私たちは、インボイス制度の施行ストップを要請します」の声明を発表しました。

インボイス番号の登録申請のめ切は、来年の3月31日です。国からは登録をせまられる状況にありますが、反対運動や政治状況によっては、事態が大きく変化する可能性があります。組合では、来年2月、3月の税金の自主計算会を通じてインボイス制度への登録申請に対応していきます。

インボイス制度は、売上に関係なく（年間1千万円を越えなくても）税務署に登録した事業所は、消費税を申告することになります。登録しないと取引先（元請や一次下請）は仕入れ控除ができないため、自分の消費税負担が増えることになります。したがって、取引を断ってくるケースが考えられます。



オシロココマ=カラフトイワナの特徴：両体側に橙色の斑点がある。表面のコラムの関連

2022年重大ニュース……

ロシアのウクライナ侵攻で 世界中に危機と緊張

2月24日、ロシア軍がウクライナの軍事施設などの攻撃を開始。最大の犠牲者は、戦火にさらされ、避難を強いられるウクライナ国民であるが、侵略戦争は、食料・燃料価格の高騰など、世界中に危機をもたらしている。

核の脅威にも直面。プーチン大統領は核の威嚇を繰り返す。ロシア軍のザポロジエ原発への砲撃などウクライナの原発が危機的状況に。民間人や民間施設への無差別攻撃が続くなか、各国がロシアへの経済制裁を強化する。国連総会もロシアを非難する決議を何度も採択。

ロシアに対し戦争やめろの世界世論が包囲する一方でウクライナ危機をきっかけに、NATO(北大西洋条約機構)が首脳会議でロシアと中国への対抗姿勢を示すなど、軍事的緊張が高まる。

日本も岸田政権が軍事費の5年以内のGDP比2%実現に向けて大軍拡へ乗り出す。



スプスプ自民統一かるた

い 一閣千金 広告塔
ろ 論より票を 当選のため
は 恥の上塗り 記憶喪失
に 逃げるが勝ちと 縁切り宣言
ほ 法外な寄付 膨大な被害
へ 「平和」かたれば 何でもあり
と 同床い夢 持ちつ持たれつ
る 類は中枢に及ぶ
か 肝心かなめの アベ外し
よ 「世」目「党」目 大違い
そ 総裁は何する人ぞ
た たかが祝電 されど祝電
な ない袖振らせる 靈感商法
む 無理を通せば 選挙は通る
め 目の上の世論

